

年頭のごあいさつ



本宮市長
佐藤 嘉重

新年明けましておめでとうござい
ます。

市民の皆様には、希望に満ちた平成23年の新春を清々しくお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろから、市政運営に格別のご理解、ご協力を賜り心から厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、国政におきましては首相の交代や新政党の誕生、経済状況におきましては急激な円高や厳しい雇用情勢等々、まさに変化の真つただ中にあるという年でありました。

本市は、合併して早や4年が経過し、5年目を迎えることとなりました。これまで多くの市民の皆様のご理解とご協力をいただきながらまちづくりを進めてまいりましたが、ようやく1つの市としての姿が見えてきたのではないかと感じています。ご存じのとおり、東洋経済新報社が発表した昨年の「全都市住みよさランキング」において、本宮市は全国第26位、北海道・東北地区では第2位に輝き、明るい話題となりました。今後は、市民の皆様が「住んでよかった」と実感でき

るまちづくり、市外の皆様が「住んでみたい」と思えるようなまちづくりが必要と考えています。

一昨年から私は「市民の皆様の健康づくりと子育て支援」、「農業を基本とした産業の振興」、「本宮駅乗降客の一日五千人突破を目指した賑わいづくり」を重点事項に掲げ、様々な事業に取り組んでいます。

特に、農業振興においては、首都圏への本市農産物の販路拡大を行ってまいりました。これまでの信頼と実績が認められ、本宮の野菜、米、特産品がさらに多くの首都圏の皆様へ販売できる地盤ができ、大いに期待をしています。昨年8月には、しらすわ直売所もリニューアルオープンし、新鮮野菜や特産品の販売拠点として多くのお客様に愛されております。

昨年は、さらに2つのテーマを設けました。1つは「経済と文化の融合したまちづくり」です。本市には古くから伝わる舞や踊り、太々神楽など数多くの民俗芸能があります。地域に根差した貴重な伝統文化は私たちの大切な財産であり、しっかりと後世に伝えていかなければなりません。2つ目は「子どもが変われば、世の中が変わる」です。将来を担う子どもたちは、未来の宝です。子どもが変われば、大人も変わります。大人が変われば地域が変わり、明るい世の中になっていくと考えています。子育て支援と教育

環境を充実させ、子どもたちが心豊かにたくましく成長できるような環境を整えていくことが、私たちの使命と考えています。

さて、私は、今年2月3日の任期満了をもって退任することになりました。顧みますと、平成6年4月第5代本宮町長として就任させていただきました。合併後の平成19年2月には初代本宮市長に就任させていただきました。通算5期16年9カ月にわたり地域の発展と住民福祉の向上に努めさせていただきました。この間、最重要課題でありました財政健全化や町村合併など多くの行政課題を乗り越え職務を全うできましたことは、市民の皆様をはじめ市議会や各種団体の皆様からの温かいご支援とご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

市民の皆様には、人と人とのつながりを大切にしていただき、今後とも温もりのあるまちづくりに参画していただきますようお願い申し上げます。そして、この「本宮市」に誇りをお持ちいただき、心豊かに過ごされますようお願いいたします。

結びに、本宮市の限りない発展と新しい年が皆様にとりまして輝かしく幸多い年となりますよう心からご祈念申し上げます。まして、新年のごあいさつといたします。

謹賀新年



本宮市議会議長
矢島 義謙

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
市民の皆様方におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から本市議会に格別のご理解とご協力を賜りますことに衷心より厚く御礼を申し上げます。

昨年は、本市議会としましては、活力あるまちづくりを進めるため、地域の特性を生かしながら「水と緑と心が結びあう 未来に輝くまち もとみや」の実現に向けて実践した一年でありました。また、全都市住みよさランキングでは一昨年よりランキングを1つ上げ、全国総合で26位となり、本市の施策が大きく評価された一年でもありました。

一方、自治体を取り巻く状況は一段と厳しさを増しております。本市においても長期化する経済不況により厳しい雇用環境が続き、市民生活は大きな影響を受けております。また、景気後退による税収の落ち込みによる財源不足、そして地方への権限委譲などにより多くの自治体が厳しい財政運営に直面しており、自治体としての自立性・自主性が強く求められる時代になっております。

この様な状況のもと、本市におきましては積極的に行政改革に取り組み、財政の健全化と行政の効率化に努め、地方分権時代にふさわしい住みよい地域、生活しやすい環境整備のため、日々議論を重ねてまいりました。

その結果、昨年は岩根地区の急激な住民増に対応するため岩根幼稚園園舎の増築や、子育て世帯の経済負担の軽減を図るため医療費の助成を中学生まで拡大する「子ども医療費助成制度」を創設いたしました。また、国の地域活性化経済対策交付金などを活用し、生活道路の整備など様々な事業を前倒しで実施し、地域

経済の活性化を図ってまいりました。本年は残された合併協議における重要課題の解決に向け、さらには安心安全なまちづくりのために積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

本市議会におきましては、より開かれた議会を目指しまして、議会活動を一層充実させ、市民の代表として皆様の負託に応えられるよう全議員一丸となって、より良い本宮市の構築のため努力、邁進してまいりますので、市議会活動に対しまして引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、平成23年が市民の皆様方にとって良い年であり、平和で希望の持てる一年であって欲しいと強く願うものがあります。私ども議会も更なる努力と責務を全うしてまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。年頭のごあいさつといたします。